

新潟大学歯学部バレーボール部での日々

歯学科4年 目黒史也

私たち歯学部バレーボール部は、男子部12名(内マネージャー4名)、女子部15名の計27名(2013年6月末現在)で活動しています。主将である私を含め、部員の多くは大学からバレーボールを始めた初心者ですが、経験者や先生方の指導のもと、毎回楽しく練習を行っています。練習日は男女ともに週二回と少ないですが、質の高い練習ができるよう、部員それぞれが工夫をしながら取り組んでいます。

私自身、バレーボールを始めようと思ったきっかけは、単純に経験者の同級生に誘われたからにすぎませんが、今となっては中高と部活として取り組んでいた陸上競技に匹敵するほど好きなスポーツです。

しかし残念なことに、日本におけるバレーボールの競技人口はあまり多くなく、一般の方にとってメジャーなスポーツとは言い難いかもしれませんが、バレーボールの魅力は他の球技にはない特殊性にあると思います。

代表的なものとして、バレーではルール上、一人の選手がワンマンプレイをすることはほぼ不可能です。つまり、チームメイトとのコミュニケーションが必要不可欠となります。強力な選手が1人いても、勝てるとは限らない、ということです。

そんなバレーボールの魅力に取りつかれた私たちの目標は、もちろん毎年夏に行われるオールデンタルでの優勝です。数年前には男子準優勝を経験している我が部ですが、私が入学してからは大きな活躍もなく、低迷しています。しかし、だからこそ今年こそは、と士気が上がる一方です。

私たちはコーチもおらず、生徒のみで練習メニューを組んでいるため、内容に至らぬ点は多いのかもしれませんが、その分自分のチームを分析し、練習内容を検討することには楽しさもあり、またチームメイトの意見を取り入れ、各々がチームに参加している意識を持つことにつながるいい側面も持ち合わせていると思います。何より、そうしてチームのことを真剣に考え、勝つためのビジョンを共有することこそが、チームスポーツの醍醐味と言えるのではないのでしょうか。

初めは長く個人競技を続けていたせいか、チームプレーに慣れない点も多くありましたが、仲間を支え、仲間を支えられ、チーム全体で積み上げた努力で1点を掴み取る、そんな感覚がいつしか私にはかけがいのないものになっていました。

今後とも、仲間とともにバレーボールを続けられるこの日々を噛みしめて、たゆまぬ努力を続けていきたいと思っています。





クラブ活動紹介 国際交流サークル

歯学科5年 竹内涼子

私たちは国際交流サークル NEXUS（ネクサス）です。このサークルは、発足してまだ2年と若いのですが、現在約30名のメンバーとともに国際交流に関わる活動を行っています。メンバーは、海外の大学歯学部への短期留学を経験した人を中心に構成されていて、本学での活動として、その交流大学の留学生が来学した際に滞在期間中のサポートをしています。また普段の定期活動では、さまざまなトピックで英語でのプレゼンテーションなどをおこなっており、留学生と関わる際の助けになるように語学力の向上に努めています。

私たちがこれまで交流してきた国（大学）は、タイ（3校）、インドネシア（2校）、台湾、メキシコ、スリランカ、インドの6ヶ国9校です。留学生の本学でのプログラムは約2週間で組まれており、平日は各科を回り休日は新潟や周辺地域の観光をしています。その滞在期間中、私たちは留学生の自由時間に行動を共にするのですが、たとえば食事であれば、新潟の美味しいお米や魚介類を紹介したり日本の作法を教えたりできるので、私たちにとっても嬉しく楽しいひと時です。一方で、時に宗教上の理由や食文化の違いで食べても

らうことできなかつたり気に入ってもらえないと、やはり外国の方におもてなしをすることの難しさを感じます。しかし、留学生の方もみな私たちのおもてなしに感謝や気遣いを示してくれ、中には必死にお箸を使って食べてくれたり日本の小さいな慣習もまねてくれる学生もいます。休日の観光案内では、市内周遊や弥彦神社といった県内観光はもちろん、会津や東京まで遠出をして一緒に旅行気分以案内をしています。休日を留学生と一緒に過ごすとは違った感覚でさまざまなものをみている様子が分かるので、私たちが気付かなかつた面白い視点を発見できます。このように NEXUS の活動を通して海外の学生と交流を重ねることで、新しい価値観に触れられるだけでなく自国についての理解も深めることができます。

NEXUS は、交換留学プログラムのスタートを機に発足したため、単独の活動としては正直まだ軌道にのっているとはいえません。しかし若いサークルだからこそ発足時の勢いをそのままに今後さらに質の高い活動に発展できたらと思っています。これまでは、海外の大学への訪問や留学生



の受け入れを通して、前述の通り新しいものに触れ自分たちの視野の狭さを感じるのみでした。しかしそれを経験した以上、これからはそれをふまえた上で日本の歯学生として外に発信できることを獲得し適切に伝えていけるように、私たち自身が学んで変わっていかねばと思っています。普段の活動も、「英語を話す」から「英語で話す」が当たり前になるような内容の濃いものに展開していきたいです。

日々の学生生活では、目の前の実習や課題でいっぱいいっぱい、国際的に……なんて考える余裕はとてありません。しかし、NEXUSの活動に関わることで、日常を俯瞰的に見なおし広い視野で考えることを思い出すことができます。狭い歯科業界に携わる者だからこそこのような活動は大切にしていきたいですし、またNEXUSを通して出会った世界中の人たちと将来またご縁があることもひそかに期待しています。

